

白十字病院 だより

2024. 夏号 Vol.10



巻頭特集

外科 ～根治性と安全性を兼ね備えた治療を～

TOPIC

包括的医療を提供する“総合診療科” /
特定の臓器や疾患を対象とせず、幅広い診療を行います

第15回 白十字駅伝大会を開催！ /
2024年5月今津運動公園に152名のランナーが集結！！

ドクタークラーク（医師事務補助者）
2024年4月施行“医師の働き方改革”に活躍が期待される職種

スタッフのお気に入り・仕事
わたしたちの町のホームドクター
地域交流サロンからのお知らせ

詳しい病院情報ホームページはこちら

<https://www.fukuoka.hakujujikai.or.jp/>



はじめまして
救急救命士です！

僕らが思い描く“救急救命士”

当院は2024年4月、救急救命士を採用しました。
増え続ける救急医療へのニーズに対応するための新たな取り組みの一つです。
救急センターにて目まぐるしく救急医療にあたる3名の今の想いを聞いてみました。

こ んにちは！私は、4月から
当病院にて勤務している救
急救命士の菅と申します。

突然ですが、皆様が思い浮かべる救急救命士といえば『救急隊として救急車に乗る人』と想像するのではないのでしょうか。それも働き方の一つなのですが、私たちの場合は『病院で救急患者を救急隊から引き継ぐ事』が主な仕事です。救急車の後部ドアが開いた瞬間から患者さんの緊急度・重症度の初期評価などの対応を行い、救急医療の提供を行っています。

日夜さまざまな患者さんが救急車で運ばれてくる当院の救急センター。救急車で運ばれるという「人生に一度あるかないか」の不安や痛みを抱えた一人ひとりの患者さんに寄り添い、安心感と適切な医療を提供できるよう日々心掛けています。

当院の救急センターでは、多職種共働を軸にともに働くスタッフの皆様が救急救命士としての専門性を尊重していただいています。非常に風通しのよい職場と感じており、医師・看護師をはじめ、各コメディカルの皆様と友好な関係を築けています。それぞれの考えをすぐにディスカッションできるため、迅速で適切な救急医療の提供に繋がっています。また、現場から患者さんの命をつなげて下さる消防の皆さんとも日々コミュニケーション

ションをとり、「命のバトン」を受け取るリレー走者の一員として当院の救急救命士は活躍しています。新たに白十字病院の仲間入りをし、救命の最前線で日々やりがいと職責を感じています。また、全国でも、救急救命士の医療行為の拡大が検討されるなど、業務内容や活躍の場も広がっており、病院内・病院外問わず、救急医療に特化したプロフェッショナルとして、将来豊かな子供たちが「私も将来は救急救命士になりたい」といえる未来のため、今日も新たな挑戦を続けてまいります。



救急救命士

菅 卓也
TAKUYA SUGAあなたの想いに
寄り添います！必要とされる
救急救命士に！

ETナースになったおかげで

(白十字病院 寄稿文)

白十字病院 看護管理室
皮膚排泄ケア認定看護師
ETナース

梶西 ミチコ

ETナース：Enterostomal Therapist

手術看護が長かった私は、廊下で腰にキムコを下けている患者さんやストーマケアに四苦八苦している患者さんの姿に、手術室では命と向き合っている術後の生活の質に向き合っていることがあったことに気づきました。

1986年にストーマケアのプロを目指し九州第1号となるETナース(※)の資格を取りました。

国際資格であるETナースは1961年に始まり、日本では1986年に養成校が開設。1996年より日本看護協会がWOC認定看護師の養成を行い、2007年福岡県看護協会に私は福大より出向して立ち上げまし

た。WOC認定看護師は2007年に皮膚・排泄認定看護師に名称が変更されました。

1980年代は日本の看護界が“Generalist”から“Specialist”の養成の移行期の中、先駆けがETナースでした。医療者の中でも「ETナースって何をする人？」という中で私の役割は、ストーマリハビリテーションの普及を図ることでした。医療者とオストメイトへ基礎知識と技術の教育・指導の場として九州ストーマケアナース学習会の発足、翌年には九州ストーマ講習会を開講・九州ストーマ研究会・日本オストミー協会への支援活動、院内教育活動等を行いました。

ETナースとして地域包括ケアでは障害を有する方や高度医療処置を要する在宅医療患者・高齢者の支援チームの一員になり、医療と介護の連携・ソーシャルサポートの強化を図りました。白十字病院では早くから生活支援・福祉サービスの充実、介護を担う人への教育・指導の継続的、計画的な取り組みとして、地域交流サロン・医療情報プラザを開放して活用しています。

現在、褥瘡予防改善のために毎週褥瘡回診をチームで行っています。また排泄自立支援カンファレンスも行い多職種がそれぞれの専門的見地で患者さんにとって最善の意見交換を行う活気のある会です。チーム医療メンバーは、夢や仕事に対する熱い思いを抱き、しかし現実とのギャップに悩みながら前進しています。

私は人間の基本的なニーズである排泄に“こだわり”ETナースの道を選びました。“こだわり”を追求する日々が個性を磨き、輝けるのではないかと考えています。世間というのは厳しくもあり、信用を得るためには時間を要し、失敗やうまくいか

ないこともたくさんあります。それでも辛抱して真剣に取り組んでいると周囲の事情が変化し、共鳴、援助の手が差し伸べられ、人の温かさに支えられ生かされている事に気が付きます。だから、私は仲間が大好きです。

人は生まれつき人として存在するのではなく、人との間で生きること初めて未来に志向していく人間になると言われています。自らの専門性を高める上において最も大切なことは「人への関心」であり、このことが輝ける今日を築くと考えています。



褥瘡回診の様子



仲間が大好きです♪



お花も大好き♪

(※)ストーマとは、疾患の治療の結果、消化管や尿路を人工的に誘導して腹部に造設した開放口、原語はギリシャ語で“口”という意味

根治性と安全性を兼ね備えた治療を

当科は、スタッフ6名で大腸がん、胃がんなどの悪性疾患、胆のう結石、単径ヘルニアなどの良性疾患を含めた消化器、一般外科領域の手術を年間500例行っています。ほか、急性胆管炎、総胆管結石に対する内視鏡治療や、消化器がんに対する化学療法（いわゆる抗がん剤治療）を担当しています。

消化器外科領域を、食道、胃、小腸、大腸などの消化管と、肝臓、膵臓、胆のうの領域にわけて専門的に治療を行う病院が増えており、当院でも昨年からこの体制で診療を行っています。消化管の手術は、現在、ほとんどを腹腔鏡手術で行っています。この手術は、腹部に小さな穴をあけて、おなかの中をカメラで観察し、TVモニターに映して手術を行います。従来の開腹手術と比較して、手術時間は長くなりますが、出血量が少ないことや、術後の回復が早くなるメリットがあります。大腸がんであれば術後約一週間、胃がんであれば術後約十日が退院の目安です。

個性豊かな外科チーム2024



肝 臓、胆道、膵臓は、お腹の深部に存在する臓器で、発見や診断が難しく治療も困難です。白十字病院では最新のCTやMRIなど高度画像診断機器を運用し、ERCPや経口胆道膵管鏡など内視鏡を行い、精細な診断および治療を行って来ました。急性胆管炎の内視鏡治療は、福岡市内でも常にトップクラスの件数を安全に治療し、地域医療に貢献しています。

新病院移転に伴い肝胆膵センターを始動し、内科・外科で協働し診療して来しました。2024年度からは福岡大学病院消化器内科と連携を強化し、診療科の隔てなく連続的に診断と内視鏡治療を行う体制を構築しています。

肝胆膵領域がんの手術は、消化器外科の分野でも高難度手術に位置づけられています。進行高度で切除不能に



肝胆膵外科
部長

谷 博樹
HIROKI TANI

なるものが多く、切除が可能でも複雑に交錯する血管や固い癒着から腫瘍を剥離することは非常に難しく、長時間が必要になります。2023年度の肝臓がん手術は18例、膵臓がん手術は15例でした。切除不能や再発したがんには、免疫チェックポイント阻害剤を含む抗がん剤治療や、他院と連携した放射線治療やセカンドピニオンなど、最適な治療を提供しています。

肝胆膵外科

ひとりひとりに心をこめて



消化管外科

ロボット支援手術開始

今年5月より大腸がんに対して、ロボット支援手術を開始しました。腹腔鏡手術よりもさらに精度の高い手術が可能で、患者さんの早期社会復帰に貢献します。



消化管外科
部長

浅生 義人
YOSHITO ASAO

最 近はロボット支援手術を行う病院が増えていきます。手術支援ロボットは腹腔鏡手術をさらに精緻に行うことのできる優れた器械です。ロボットが自動で手術するわけではありませんが、おなかの中に鉗子（かんし）を入れ、術者は患者さんから離れた場所にある操縦席に座り、三本の操作鉗子とカメラをコントロールします。それぞれの鉗子の先端は人の手の関節のような可動性があり、手振れを補正してくれるます。カメラは3Dで奥行き感があり、骨盤内のような狭い空間でも安定した操作が可能になると言われています。当院でも今年5月から大腸がんに対してロボット支援手術を始めました。なお、この手術を行うにあたっては、外科系学会の定める専門資格、事前のトレーニングプログラムがあり、十分な準備の上で安全に行う体制になっています。当院では、多くのロボット支援手術の経験がある福岡大学病院消化器外科と連携し、指導のもとで行っています。

今後も患者さんに安全な手術が提供できるよう、スタッフ全員で努めて参りますのでよろしくお願いいたします。



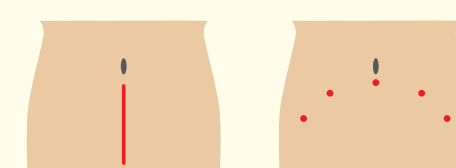
ペイシェントカート（ロボット本体）から伸びるアームが直接患者さんの体内に挿入され、手術が行われる



術者はサージョンコンソール（操作台）で遠隔にて手術を行います

ロボット手術のメリット

- 傷口が小さい
- 術後の疼痛が少なく回復が速い
- 手術中の出血量が少ない
- 術後の合併症のリスクが低い



従来の開腹手術

ダビンチによる
ロボット支援手術(例)

ロボット手術で期待できること

- より安定した精緻な操作
- 人の指先以上の動きを実現



手術支援ロボット
『ダビンチ da Vinci Surgical Sytem』

～今年は佐世保地区からも参戦！計19組の熾烈な戦い！～

第15回 白十字駅伝大会を開催！

2024年5月今津運動公園に152名のランナーが集結！！

昨年4年ぶりに開催された白十字駅伝大会は、今年も無事に開催することができました。今年は白十字会佐世保地区や外部の方も参戦し、昨年よりも大幅に参加人数が増え、計19チームが熱いレースを繰り広げました。

清々しい晴天の大会当日、152名のランナーと応援に駆け付けた家族や職員で、大賑わいの今津運動公園。1チームは8人で構成され、一人一周2.3kmを8週します。医師をはじめ、看護師やメ

ディカルスタッフ、事務に至るまで職種を越え、同じ襷を繋ぎ、一つのゴールに向かう素敵な光景でした。白十字会の良いところは、まさに職種を越えたチームワークの良さ！それを実感した瞬間でもありました。同じ白十字会とはいえ、違う病院や施設の職員、ましてや佐世保地区の職員とはなかなか交流もない中、このようなイベントで顔を合わせ仲を深める貴重な機会となりました。ぜひ来年も開催できることを願います。



～2024年4月施行“医師の働き方改革”に活躍が期待される職種～

ドクター秘書(医師事務補助者)

ドクター秘書とは

正式には医師事務作業補助という職種で、医師の負担を軽減するために活躍している職員です。

2008年度に、病院勤務医の事務作業負担を軽減し、医療の質を高めることを目的として、診療報酬に「医師事務作業補助体制加算」が新設され、医師事務作業補助者のいる病院では、一定の条件を満たしている場合、診療報酬に加算ができるようになりました。当院では医療の質の向上に加え、医師の働き方改革の観点からも、いち早くこの制度を取り入れ、18年前から医師事務作業補助者を採用しています。受付・窓口業務、診療報酬(レセプト)請求、病院運営のためのデータ収集など、厚生労働省の定めた“行ってはならない”業務もあり、医師の指示のもと、医局内だけでなく、外来診療室などで幅広く活動しています。

主な業務

・診断書、診療情報提供書、退院サマリ

- 一などの文書作成補助
- ・電子カルテ(診療記録、各種オーダー)の代行入力
- ・診療に関するデータの整理や管理
- ・学会・研究会の統計調査スライド作成
- ・症例検討会の資料準備
- ・回診・カンファレンスの準備 など

医師の負担軽減に貢献するために

2024年4月に医師の働き方改革が施行され、その対策の1つとして、タスクシフト/シェアの推進が求められています。その貢献度が大きいと期待される職種として、まずは秘書自身が常に向上心を持ち、スキルアップを目指しており、現在、約9割の職員がドクターズクラークの資格を有しています。また、チーム制の導入により、欠勤時や繁忙期の相互フォロー体制を強化しています。

今後は当院でも多職種連携の取り組みが不可欠であり、ドクターズクラークが医師と他職種との架け橋になれるよう、関係の構築を目指します。



「私たちがドクター秘書です！」



電子カルテ入力の様子

書類作成中

～当院の診療科に新しく加わった総合診療科。どのような診療・治療を行うのか？～

包括的医療を提供する“総合診療科”



2024年4月に新設されました総合診療科は特定の臓器や疾患を対象とせず、幅広い診療を行います

総合診療科とは

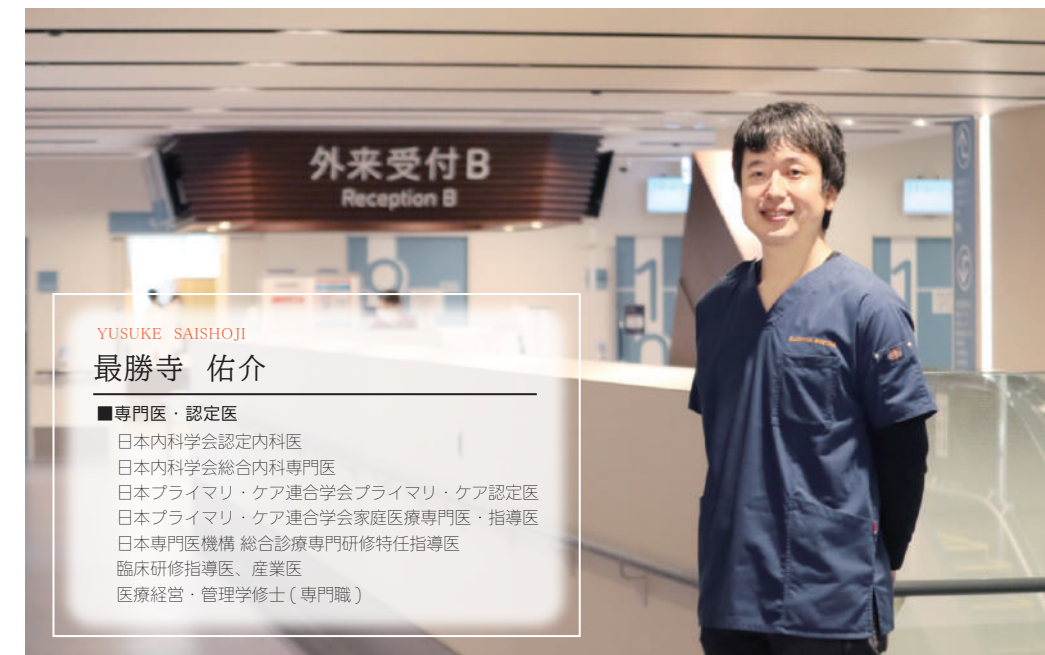
「総合診療科」はあまり聞き慣れない言葉かもしれませんが、特定の臓器や疾患を対象とせず、患者さんが抱える様々な健康問題に対して幅広く対応する診療科となります。地域や医療機関のニーズに合わせた様々な診療形態が存在しますが、当院の総合診療科は主に地域に住む高齢者の救急疾患や診断に難渋する疾患に対し領域横断的なアプローチを行う役割を担っています。

新設の背景

当院は在宅療養後方支援病院として、住民が住み慣れた地域で安心して療養生活を送れるよう医療の提供をおこなっています。専門科を多く持つ当院ではより効率的に専門医療を提供するためにも臓器横断的に診療を行う診療科の設立を以前より計画していました。この度、私が県外より赴任するにあたり、当院での総合診療の提供体制について泌尿病院長とビジョンを共有し新設する運びとなりました。

役割

他の医療機関から紹介される患者さんを中心に、内科外来・救急外来での診療を担当し、適切な専門科を紹介させていただいています。また、入院中の患者さんに関しても必要時紹介をいただいております。疾患の診断や治療、誤嚥性肺炎のケアなど様々な視点から診療協力体制をとっています。さらに、総合診療が継続的に提供できる環境を築くために、



YUSUKE SAISHOJI

最勝寺 佑介

■専門医・認定医

日本内科学会認定内科医
日本内科学会総合内科専門医
日本プライマリ・ケア連合学会プライマリ・ケア認定医
日本プライマリ・ケア連合学会家庭医療専門医・指導医
日本専門医機構 総合診療専門研修特任指導医
臨床研修指導医、産業医
医療経営・管理学修士(専門職)

研修医や診療看護師(Nurse Practitioner)の教育も行います。また、学術活動を含め、臨床・教育・研究を3本柱として社会貢献できる診療科を目指します。

必要性

高齢化社会が進み、慢性疾患を複数持つ方が多くなる中、多職種との連携を重視し、地域に住む人が“その人らしい”人生を送れるように包括的医療を提供することが求められています。医療機能の集約化や医師偏在の中、高度な医療を提供しつつも、包括的医

療を効率的に提供することが必要であり、その一端を担う役割が総合診療にはあります。

現在の総合診療科

2024年4月より新設された診療科であり、医師1人体制となっています。さらに、今年度は月・水・金の週3日を外来診療日としていますので紹介・受診される医療機関や患者さんにはご不便をおかけすることと思います。今後、診療科として成長し十分な医療提供を行える体制を築いていく所存です。当面の間はご不便をおかけしますが、ご理解のほどよろしくお願いいたします。

Q.例えば、以下のような症状がある方

全身状態

…原因不明の発熱や体調不良

頭頸部の症状

…頭痛、めまい、耳鳴り

胸部の症状

…呼吸困難、胸痛、咳

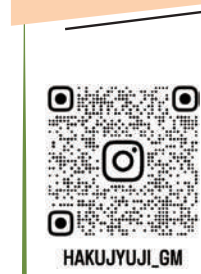
腹部の症状

…腹痛、下痢、吐き気

●当院は完全予約制です(紹介状が必要です)

「何科に行けばいいかわからない…」そんな時は、まずはかかりつけ医にご相談ください。当院は地域のクリニックや診療所と連携をとっていますので、かかりつけ医の判断のもと、当院を紹介してもらってください。

Instagramの
フォローお願いします！



HAKUJYUJI_GM

お問合せ(平日/8:30～17:00)

●各診療科・患者相談窓口

092-891-2511(代表)

●医療機関から地域医療連携窓口

092-834-2507(直通)





クリニック高木

○脳神経外科・頭痛外来・脳ドック etc

小さな症状でも
お気軽にご相談ください

〒814-0014
福岡県福岡市早良区弥生1丁目4-8
TEL:092-844-1211

診療時間	月	火	水	木	金	土
09:00~12:00	●	●	●	●	●	●
14:00~18:00	●	●	●	×	●	●

※休診日:日・祝 ※木曜日(●)は9:00~13:00となります

詳しい病院情報
ホームページはこちら



駐車場あり



医療法人三恵クリニック 三恵クリニック

○内科・外科・整形外科・各種がん検診
○往診・訪問診療可

地域のそばに、地域とともに

〒814-0003
福岡県福岡市早良区城西2丁目6番21号
TEL:092-841-0114

診療時間	月	火	水	木	金	土
08:30~12:00 昼休み12:00~14:00	●	●	●	●	●	●
14:00~17:30	●	訪問 診療	●	×	●	×

※休診日:日・祝 ※但し、急患はのがざりではありません

近日
ホームページ公開！



駐車場あり



スタッフのお気に入り

息抜きはヨット

初めまして薬剤部1年目の朔夏樹と
います。分からないことだらけ
で悪戦苦闘の毎日ですが、日々新しい
ことがいっぱいとても充実していま
す。そんな私の休日の息抜きはヨットで
す。皆さんはヨットと聞いたら、青い海に
穏やかな天気の中で乗るイメージを想
像するのではないのでしょうか。私も始め
る前の印象はそうでした。しかし実際
には、風を利用してエンジン無しで走るの
で、風が強いほど早く進みます。風上の
方向に進む場合は、風に対して斜め

45℃で風を帆で受けないと行きたい方
向に進めないため目的の方向に向かっ
てジグザグに進むのです。海上には木
などの植物はもちろんありません。風向
や風力が見て分かるものが何もない状
態の中どうやって風をよむと思います
か？実は、海面の動きや海面の色の違
いで風が吹いているか判別できます。な
ので、海面を見て風がより吹いてる方
を見極めることが大事になってきます。驚
きがたくさんあって面白いですよ。乗
ってみると全身で風を感じる爽快感と
海の自然を感じる事ができて楽しいで
す。少しでも興味あったらぜひ一緒に
乗ってみましょう。

ヨットの他にも、ゴルフ、キャンプ、サー
フィン他にも経験してみたいことがいっ
ぱい。仕事もプライベートも充実で
きる1年にしていきたいと思っています。



朔 夏樹

NATSUKI SAKU

薬剤部

■出身地:福岡県
■趣味:温泉、喫茶店めぐり、
お酒、ヨット

ヨットから見る景色



いいね！

#ヨット
#風をよむ
#爽快感
#息抜き
#たくさん経験してみたい



スタッフの仕事

両立しながら、やりがいを持って

今年の2月から白十字病院の言語聴
覚士(以下、ST)のパート職員とし
て勤務しています。

新卒で地元の回復期病院を3年間経
験した後、結婚・出産・夫の転勤が重な
り、約4年ぶりの復帰となりました。

家庭との両立に自信が持てず不安も
ありましたが、当院のパート職員の求人
を知り、再挑戦の後押しとなりました。現
在、私は脳卒中センターに所属し、主に
脳卒中後に言語障害、高次脳機能障
害、摂食嚥下障害を持つ患者さんに介

入しています。週4日の勤務ですが、リ
ハビリの実施だけでなく、担当患者さん
の退院支援まで任せていただき、責任と
やりがいを感じています。その一方で、
急性期リハでは、回復期以上に幅広い
医学的知識、リスク管理等が必要で、知
識や経験不足を痛感する毎日です。も
っとスキルアップしたいと思いながら
も、思うように勉強時間が取れなかつた
り、子どもの体調不良等でやむを得ない
欠勤・早退もあり、もどかしさを感じるこ
ともありますが、チームの皆さんからの励
ましやフォローに支えられ、続けることが
できています。

今後もしばらくは家庭とのバランスを取
りながら、やりがいと向上心を持って働
くことができると考えています。今は自
分のペースでコツコツと経験を積み、皆
様に貢献できるSTを目指して、頑張りた
いと思います。



松浦 那菜

NANA MATSUURA

言語聴覚士

■出身地:岡山県
■趣味:ネットショッピング

言語聴覚士(ST)



いいね！

#言語聴覚士
#ST
#約4年ぶりの復帰
#もっとスキルアップしたい
#家庭と仕事のバランス



人とひと、ひとと地域、
気持ちときもちが、

つながるカフェ

地域交流サロン“いしまるしえ”から新しいサロンが誕生しました！
その名も『つながるカフェ』。“人とひと・人とコト・人とモノ”様々
なことがつながる場所。様々なことがつながることによって、より良い
生活へ繋がることを願って誕生した『つながるカフェ』は、月に1回、
決まった日程でオープンします。

カフェオープン日程

7月30日(火)	13:00~15:00
8月22日(木)	10:00~12:00
9月25日(水)	14:00~16:00
10月18日(金)	10:00~12:00
11月16日(土)	10:00~12:00
12月24日(火)	11:00~13:00
1月19日(日)	10:00~12:00
2月13日(木)	14:00~16:00
3月12日(水)	14:00~16:00

白十字会はサロン
活動を応援して
います！

地域で、新しいサロンを立ち上げ
たい！という方、**大募集！**今の
サロンをもっと盛り上げたい！と
いう方、**大賛成！**
白十字会は、立ち上げから運営ま
で、支援いたします！
皆さんと一緒に私達の地域をより
笑顔あふれる、助け合える地域に
しましょう！

社会医療法人財団
白十字会



最新の情報を
GET！

LINE 公式アカウントからは
講座に関する情報を
いち早くお届け！

Instagramの
フォローをお願いします！



外来担当医表

2024年7月1日時点

■受診受付時間/8:45～11:30(月～金曜日)

予約 / 予約の変更 / 予約の確認 (月曜～金曜/8:30～17:00)

※時間帯予約制となっております。
事前に**予約受付コールセンター**で予約をお願いします。

0120-19-8912 (フリーダイヤル)

	診療科	診療時間	月	火	水	木	金
内科	総合診療科	午 前	最勝寺 佑介		最勝寺 佑介		最勝寺 佑介
	内 科 (第5月曜日:休診)	午前初診	永田 大(福大) (内分泌内科)(第1・3週)/ 濱田 直樹(福大) (呼吸器内科)(第2・4週)	稲田 悠希 (心臓血管内科)	矢次 博 (呼吸器内科)	原田 久嗣 (糖尿病内科)(第1・3・5週)/ 三戸 隆裕 (心臓血管内科)(第2・4週)	矢野 雅也 (心臓血管内科)
	糖尿病内科	午前初診	岩瀬 正典	横溝 舞子	長倉 祐紀	原田 久嗣	井手 均
		午前再診	岩瀬 正典/ 井手 均/ 横溝 舞子	岩瀬 正典/ 横溝 舞子/ 高木 可南子	長倉 祐紀/ 横溝 舞子/ 原田 久嗣	井手 均/ 原田 久嗣/ 高木 可南子	岩瀬 正典/ 井手 均/ 横溝 舞子
	脳・血管内科	午 前	徳永 敬介	熊井 康敬	坂井 翔建	由比 智裕	中西 泰之
		午後再診		清原 卓也(九大)	熊井 康敬		
	心臓血管内科	午 前	矢野 雅也(第1・3・5週)/ 三戸 隆裕(第2・4週)/	稲田 悠希 (内科外来兼務)	板東 翔 (睡眠時無呼吸外来兼務)	三戸 隆裕 (第2・4週内科外来兼務)	矢野 雅也
		午後再診	ペースメーカー				
	消化管内科	午 前	岡村 活揮/ 中尾 凜	工藤 哲司/ 中尾 凜	井浦 登志実/ 岡村 活揮	井浦 登志実	工藤 哲司
	肝臓・胆のう・膵臓 内科	午 前	内田 洋太郎	木村 遼	内田 洋太郎 ※午前再診のみ 向坂 彰太郎 ※午後再診のみ	木村 遼 ※午前再診のみ	
	腎臓内科	午 前	酒匂 哲平	木村 廣志	酒匂 哲平	平野 直史	木村 廣志
		午後再診		腎療法選択外来 (14:00～16:00)		PD外来 腎療法選択外来 (14:00～16:00)	
	呼吸器内科	午 前	濱田 直樹(福大)		矢次 博		松本 武格
		午 後					
	内分泌内科	午 前	永田 大(福大)				
		午 後					萬代 幸子(九大)
脳神経内科	午 後				馬場 康彦		
血液内科	再 診		河津 大地(福大)			中島 勇太(福大)	
もの忘れ外来	午 後				入江 克実 (13:00～15:00)		
外科	精神科	午 前	平河 則明(九大) 平野 羊嗣(九大)第4		平河 則明(九大) (8:30～13:00) 第4(8:30～17:00)		比嘉 逸人(九大)
		午 後	平野 羊嗣(九大)第4				
	外 科	午 前	谷 博樹/ 浅生 義人(初診のみ)	浅生 義人/ 武富 啓能	浅生 義人/ 梶谷 竜路	谷 博樹/ 梶谷 竜路	中村 勇太郎/ 武富 啓能
		※泌尿:第1・3木曜日午後(13:00～15:00)再診のみ					
	脳神経外科	午 前	林 修司	井上 亨/ 入江 由希乃	福田 健治 (脳血管内治療)	神崎 由起	藤原 史明 (脊椎末梢神経)
		午後初診	藤原 史明 (脊椎末梢神経)				藤原 史明 (脊椎末梢神経)
	心臓血管外科	午 前		住 瑞木/ 江石 惇一郎		住 瑞木/ 徳永 峻吾	助弘 雄太(福大) ※再診のみ
		午 後		尼子 真生		尼子 真生	
	乳腺外科	午 前	田中 益美(福大)	松尾 文恵			
	整形外科	午 前	小林 知弘/ 西山 祐加	清水 黎玖/ 伊崎 輝昌 (福大建築・肩関節外来)	小林 知弘 (膝・股関節外来)/ 石川 洋平(福大)	田代 勇人/ 西山 祐加	清水 黎玖/ 田代 勇人
	形成外科	午 前	伴 楓子	眞鍋 剛	伴 楓子	眞鍋 剛	伴 楓子
	泌尿器科	午 前	吉田 一博/ 阿部 裕典	山崎 史裕/ 阿部 裕典	吉田 一博/ 阿部 裕典	吉田 一博/ 山崎 史裕	山崎 史裕/ 阿部 裕典
		午 後		羽賀 宣博(福大)			
	眼 科	午 前	藤原 恵理子	藤原 恵理子	福大医師/ 藤原 恵理子※予約のみ	藤原 恵理子	松本 拓(福大)/ 藤原 恵理子※予約のみ
	歯科口腔外科	午前・午後	嶋村 知記/ 青柳 直子	嶋村 知記/ 青柳 直子/ 近藤 誠二(福大)	嶋村 知記/ 青柳 直子	嶋村 知記/ 青柳 直子/ 一木 志保(福大)	嶋村 知記/青柳 直子/ 眞野 亮介(福大)/ 豊福 明(東京医科歯科大) ※第2週のみ
	皮膚科 ※入院患者	午 後					清水 裕毅(福大)
肺がん外来	午 後		中島 裕康(福大) ※第2・4週のみ				



社会医療法人財団 白十字会

白十字病院



Facebook



Instagram



〒819-8511 福岡市西区石丸4丁目3-1

TEL:092-891-2511 / FAX:092-881-4491

<https://www.fukuoka.hakujyujikai.or.jp/>